

岐阜県関市小屋名におけるニホンカモシカの記録

Record of the Japanese serow *Capricornis crispus* (Temminck) (Cetartiodactyla, Bovidae)
from Oyana, Seki, Gifu Prefecture, Japan

佐野めぐみ¹・籠橋数浩¹・説田健一²

Megumi Sano¹, Kazuhiro Kagohashi¹, Ken-ichi Setsuda²

¹岐阜県博物館サポーター（岐阜北高等学校所属）；²岐阜県博物館

要旨

岐阜県関市小屋名の百年公園に赤外線センサーカメラを設置し、初めてニホンカモシカ *Capricornis crispus* (Temminck) を撮影した。

はじめに

岐阜県博物館では、2003年から赤外線センサーカメラを使って岐阜県百年公園内の哺乳類相の調査をしてきた（説田，2004）。2008年からは、環境省のモニタリングサイト1000里地調査に参加し、これまでに13種の中・大型哺乳類が確認された（岐阜県博物館，2014）。

今回、初めてニホンカモシカ *Capricornis crispus* (Temminck) を撮影したので、ここに報告する。

調査地および調査方法

岐阜県博物館では、モニタリングサイト1000里地調査（以下、モニ1000とする）の中・大型哺乳類調査として、岐阜県百年公園北部の3地点（図1）に赤外線センサー付き自動撮影カメラ（FieldNoteDUO，麻里布商事，山口）を1台ずつ設置し、撮影を行ってきた。調査マニュアルでは、調査期間は全国的な比較が可能な5月から10月頃までで、カメラを約1ヶ月間設置し、回収後にデータ取り出し電池を交換し、それを繰り返すとなっている（日本自然保護協会，2008）。今年度の調査では、2016年5月5日から6月26日，7月10日から8月28日，9月11日から10月30日に設置した。

今回、その設置期間以外にも別の動画撮影カメラ（Ltl-Acorn6310W MARIFセレクション/ノングロー940nmタイプ 輸入代理店 麻里府商事）を、同じ3地点に6月26日から7月10日，10月30日から2017年1月21日まで設置し、継続して撮影を行った。3台ずつ合計6台用いて、撮影期間を空けないようにした。12月10日と12月24日にカメラの交換を行った。なお、カメラの回収日以前にバッテリーが切れてカメラが止まったことがあった。撮影モードは、1回の撮影時間を60秒、

インターバルは15秒に設定した。地上から1.2m～1.5mの高さで獣道の脇にある木の幹にベルトで括り付けて固定した。その時、獣道の進行方向に対して直角になるようにした。日溜まりの少ない場所を選んだ。動画は1回の撮影を1枚として数えた。

3地点の景観の概要と周辺の状況について記す。地点Dは遊歩道の見晴台から北西にのびる尾根上の中間地点で踏み跡があり、南方の谷から狭い獣道が合流している、ヒノキ人工林内にある。地点Fは遊歩道からアカマツ林内に10mほど入ったところで、踏み跡がある。地点Gは遊歩道からヒノキ人工林を南に下った所で、百年公園の自由広場につながる谷筋の中間になる。

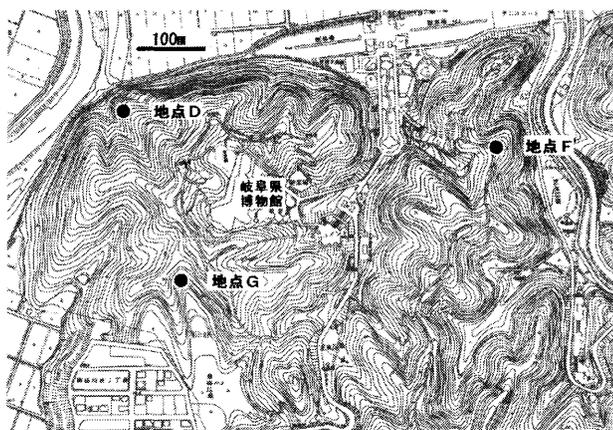


図1 赤外線センサーカメラ設置地点

結果

カメラが作動した期間は、モニ1000では389カメラ日（カメラの作動日数合計）、動画撮影では271カメラ日になった。撮影総枚数は両方の結果を合わせて836枚、撮影された中・大型哺乳類は11種類、281枚だった。地点別では、地点Dは121枚、地点Fは44枚、

地点Gは116枚だった。

その中で、ニホンカモシカは2016年12月12日10時55分、地点Gで1頭、撮影された。画面右手前から左奥に向かってゆっくり、たびたび立ち止まりながら歩行していた(図2)。ほぼ東へ移動した(図3)。



図2 2016年12月12日に関市小屋名百年公園で撮影されたニホンカモシカ。佐野めぐみ撮影。

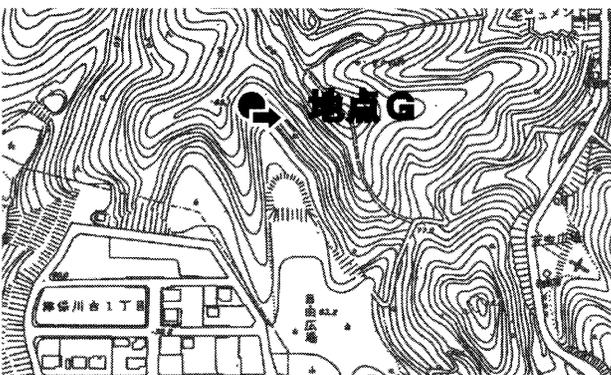


図3 ニホンカモシカが歩いた軌跡(→)。

考察

ニホンカモシカが百年公園で初めて撮影された背景として、岐阜県におけるニホンカモシカの生息分布が、年々、拡大していることがあげられる。2010年に可児郡御嵩町の市街地にあるショッピングセンター駐車場でカモシカが保護される事例が発生し、2011年時点で百年公園に近い岐阜市東部でニホンカモシカが確認されていた(岐阜県, 2015)。また、岐阜市雛倉地区で目撃、撮影され(岐阜新聞, 2010)、雛倉地区から石谷地区にかけて自動カメラで撮影された(岐阜市, 2014)。このように、美濃地方の平野部もしくは都市近郊にも拡大している事がわかる。

今回、関市百年公園でも撮影されたことから、生息分布の拡大が示唆された。

文献

- 岐阜県, 2015, 第二種特定鳥獣管理計画(カモシカ) 第1期, 26p.
- 岐阜県博物館, 2014, 特別展「里山いま昔-人と自然 あらたな“絆”を求めて-」図録, 64p.
- 岐阜市, 2014, 岐阜市の自然情報～岐阜市自然環境基礎調査～, 238p.
- 岐阜新聞, 2010, ニホンカモシカ岐阜市で撮影 市環境調査員 梶浦さん成功, 2010年3月19日, 朝刊.
- 日本自然保護協会, 2008, モニ1000里地調査 中・大型哺乳類調査マニュアルVer.3.0. <<https://www.nacsj.or.jp/project/moni1000/howto.html>> (2016年5月5日)
- 説田健一, 2004, 赤外線センサーカメラで撮影された関市岐阜県百年公園の哺乳類. 岐阜県博物館調査研究報告25, 13-26.